

# 自民 公明 民主 市民の願いふみにじる



「こども病院人工島移転」に手を挙げて賛成した議員

【東区】 森英鷹(自)、川上晋平(自)、今林秀明(自)、小石原淳一(自)、渡辺裕江(公)、尾花康広(公)、山口剛司(公)、阿部正剛(民)、金出公子(民)、藤本顕憲(福) 【博多区】 南原茂(自)、福田衛(自)、市木潔(公)、石田正明(公)、田中文太郎(民)、石川浩二郎(み) 【中央区】 妹尾俊見(自)、稲員大三郎(自)、石村一明(自)、楠正信(公)、田中しんすけ(民)、水城四郎(み) 【南区】 光安力(自)、飯盛利康(自)、伊藤嘉人(自)、川上義之(自)、打越基安(自)、大石修二(公)、松野隆(公)、三原修(民)、山下謙二(民)、国分徳彦(み) 【城南区】 阿部真之助(自)、大石司(公)、太田英二(民) 【早良区】 友納博美(自)、津田たかし(自)、黒子秀勇樹(公)、久保浩(公)、栃木義博(民)、玉井輝大(民)、平畑雅博(み)、大森哲也(福) 【西区】 富永計久(自)、おばた久弥(自)、川辺敦子(公)、江藤博美(民)、笠康雄(み) ※順不同、敬称略、(自)=自民党、(公)=公明党、(民)=民主市民クラブ、(み)=みらい福岡、(福)=福政市民クラブ

## 日本共産党は反対

# こども病院人工島移転のための 土地取得予算を強行

福岡市9月議会で、吉田市長が提案した人工島のこども病院用地取得費47億円の補正予算案が採決の結果、自民、公明、民主、みらい福岡、福政市民の賛成で可決されました。「人工島移転反対」の市民の願いに背を向けた態度は許されません。日本共産党は市長と推進勢力を徹底的に批判しがかりました。

## 吉田市長「不信任」!

## 日本共産党が提案。市民から歓迎の声

さらに、財界・銀行いなり人工島開発への税金投入に突き進み、子どもの命さえも犠牲にする市長を厳しく批判しました。そのうえで議案撤回を要求しましたが、市長が応じなかったため、日本共産党は最終日の24日、「吉田

日本共産党は中山いくみ議員の議案質疑で、「検証・検討」の偽装ぶりを明らかにして市長の公約違反を追及し、小児科や産婦人科医92人による「緊急提言」や、「子どもの命を救つて」という患者家族の悲痛な声さえも黙殺する市長を糾弾しました。



市長不信任案の動議を提案する宮本秀国議員

### 「自民か民主か」と言うが福岡市政を見れば...

吉田市長のもとで、こども病院の人工島移転強行だけでなく、大型開発のムダづかい、医療・福祉・教育の後退は明らかです。市長が自民から民主に変わっても、市政の中身は変わらない—これが実態。



日本共産党が伸びてこそ、政治の中身を変えることができます。

悲痛な声さえも黙殺する市長を糾弾しました。そのうえで議案撤回を要求しましたが、市長が応じなかったため、日本共産党は最終日の24日、「吉田

市長の不信任案」の動議を提出しました。重大な公約違反を繰り返し、市民を完全に無視する吉田市長にこれ以上市政運営を任せられません。自民、公明、民主などによって否決されたものの、「記録のある範囲で歴史上初めて」(市議会事務局)の市長不信任案は市民から歓迎されています。

### まだ「第一関門」

今回の議案成立は、市長が「第一関門」と述べているように、入口にすぎません。市民の反対世論はますます高まっています。日本共産党は市長と推進勢力をいつそう追及するとともに、市民と共同してこども病院人工島移転を阻止するため全力をあげる決意です。

## 白紙撤回へ ひきつづきがんばります

### 福岡市議会ニュース

1041号 2008年10月 <議会報告>  
ご意見、ご要望をお寄せください  
発行: 日本共産党福岡市議団  
電話 092-711-4734 FAX 092-741-4627  
福岡市中央区天神1-8-1市議会11階

## 日本共産党 福岡市議団 www.jcp-fukuoka.jp



南区 宮本秀国 (団長) 早良区 中山いくみ (幹事長) 中央区 星野美恵子 博多区 ひえじま俊和 城南区 倉元達朗 西区 熊谷敦子



## 誰もが安心して利用できるよう改善を



質問する倉元達朗議員

倉元達朗市議は介護保険制度について改善を求めました。

### 給付抑制をやめよ

一つは、「適正化」の名で進められている介護サービス給付の削減をやめることです。

倉元市議は「今まで受けていたサービスが受けられなくなったという声が後を絶たない」と述べ、その原因として市の間違った指導があると指摘。訪問介護のうちの炊事等の生活援助サービスについて、家族による家事が困難な場合はサービス利用が認められているのに、市が介護事業所に出した通知には「同居家族がいる場合原則できない」と書かれ、さらに「同一マンションで別な部屋の場合」「近隣に居住する場合」「同居」と見なすことまで指示していることを暴露しました。

倉元市議は厚生労働省が「同居の有無のみを判断基準として機械的に判断しないように」と指導していることを示して、「これに反する利用抑制の通知は撤回し、必要な人が必要なサービスが受けられるようにすべきだ」と

ただしました。保健福祉局長は「同居家族があっても適切に判断されるべきだ。説明を補足するなど徹底したい」と答弁しました。

### 負担軽減を

二つは、介護保険料の低所得者の減免制度の充実です。倉元市議は、介護保険事業会計は今年3年間で10億円の剰余金が出ており、この黒字分を活用して保険料の負担軽減をすべきだと主張。国庫負担を元に戻すよう求めるとともに、市として保険料の減免制度を充実し、利用料助成制度もつくるよう要求しました。

### 人材不足の対策

三つは、深刻な介護の人材不足を解決するための対策です。倉元市議は、平均2年7カ月で職員が辞めていき求人を出しても集まらないという市内のある介護事業所の事例を示し、「希望に燃えて介護職に就いた青年たちが、仕事がついに割に給料が安い、と無念の思いで職場を去っている」と述べ、年収2百万円以下の低賃金と不安定雇用の「官製ワーキングプア」が原因だと指摘。介護労働者の待遇改善のために、国に対して介護報酬の引き上げを求め、市としても独自に人件費補助をすることを提案しました。

### 日本共産党の質問

- 中山いくみ議員(議案質疑) ○こども病院の人工島移転に関する補正予算案について
- 熊谷敦子議員(一般質問) ○農漁業の原油高騰対策
  - 教室冷暖房設置
  - 西部市場跡地問題
- 倉元達朗議員(一般質問) ○介護保険制度の改善
  - 障害者医療費助成
  - 学校施設の改善

して行く。実態を把握し対策を検討していく」と答弁するとどまり、市独自の直接補てんには言及しませんでした。



### 障害者医療費 改悪やめ、無料制度の存続を

重度心身障害者医療費助成制度について、福岡県が所得制限・一部負担導入など改悪を強行し、市も保健福祉審議会で検討を始めました。倉元市議は、重度の障害者は毎月複数の病院にかかるため、数千円の負担増は重く、命を脅かし生活も成り立たなくなると指摘。市が改悪による経費削減を8億円と見込んでいることを明らかにし、「ムダづかいをなくせば障害者に新たな負担を強いる必要はない」「改悪は絶対に認められない。制度を存続すべきだ」と迫りました。市長は「一定の見直しが必要。慎重に検討していく」と改悪に道を開く態度を示しました。

### 教室の冷暖房設置を 市長は「扇風機つけた」と拒否

熊谷敦子市議は、学校教室の冷暖房設置について質問しました。

猛暑のなか7月の教室温度は35度を超える時もあり、児童・生徒の学力や健康面でも心配の声があがっています。熊谷市議はこうした学校現場の実態や保護者の声を紹介し、冷暖房設置を強く要求しました。

教育長は扇風機設置などによる暑熱対策の検証をしており、「扇風機によって皮膚温度が低下した」「扇風機は環境面で優れている」「水分補給で対応している」と答弁しました。

熊谷市議は、扇風機を設置しても教室温度は33度だと述べ、「最も望ましい温度は夏期では25～28度」と定めた文部科学省の「学校環境衛生の基準」に違反しているのではないかとたどしました。教育長は「30度以下が望ましい」と認めました。

政令市では千葉市、名古屋市、京都市、さいたま市、川崎市が教室冷暖房を設置しています。京都市は地球温暖化対策やエアコンの正しい使い方など



質問する熊谷敦子議員

環境学習を推進。さいたま市は10年間のリース方式で財政負担を軽減しています。熊谷市議は「リース方式なら年7億円です。市長は予算措置すべきだ」と迫りました。

市長は「暑いのは分かっている。扇風機を付けた」と、子どもたちの願いに背を向ける冷たい態度を示しました。

### 原油高騰対策 農業、漁業への直接補てんを

熊谷敦子市議は、原油高騰の影響を受ける農業、漁業への支援について質問しました。

福岡市でも漁船の燃油や施設園芸の加温用燃料の値上がり漁業者、農業者の経営を圧迫しています。政府が7月に決めた漁業向けの緊急対策は漁業者から使いにくいという声があがっています。一方で、市は農協や漁協から聞き取った程度でまともな実態調査を行っておらず、市の融資制度は実態に合わずほとんど使われていません。

熊谷市議は「原油高騰は投機マネーによって引き起こされており、農業者や漁業者には何の責任もない。政治の責任で解決すべきだ」と述べ、農業者、漁業者に対する燃油高騰への直接補てん措置を市独自に行うよう求めました。また、実態調査を行うよう要求しました。

吉田市長は「より効果的な対策を国に要望